43人が描く空想未来漫画
「2100年8月15日」

令和5年6月27日（火）～10月1日（日）

9:30～17:30（入館は17:00まで）

前期：6月27日（火）～8月20日（日）、後期：8月22日（火）～10月1日（日）
休館日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）、8/27（日）　※8/14（月）は開館
協力：公益社団法人日本漫画家協会　（有）ちばてつやプロダクション

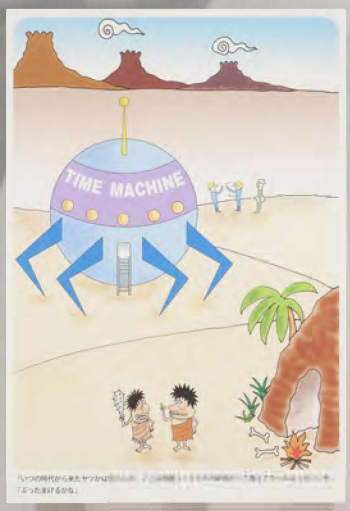
平和祈念展示資料館（総務省委託）　入館無料

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階　Tel：03-5323-8709　https://www.heiwakinen.go.jp

@heiwakinen

「国境がなくなる」
森田拳次

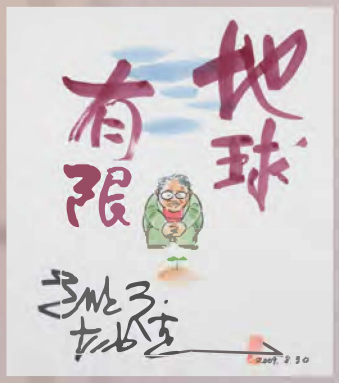
「惑星修学旅行」
ちばてつや



「TIME MACHINE」
ジョルジュ・ピロシキ

「オールマイティ言語伝達器」
花村えい子

「超高層人工棚田」
いわみせいじ



「地球 有限」
さいとう・たかを

43人が描く空想未来漫画
「2100年8月15日」

1945年8月15日、一つの長い戦争が終わりました。
大きな悲しみや痛みを背負いながら、人々は焼け跡から復興に向けて立ち上がり、新しい一歩を踏み出しました。
終戦から78年。めざましい科学技術の進歩とともに、社会構造や自然環境は劇的に変化しました。
今、世界は再び不穏な空気に包まれています。

この夏は、43名の著名な漫画家が、終戦から155年後を描いた「2100年8月15日」をご紹介します。 これらの作品群は、自身も引揚体験者である森田拳次氏の呼びかけに賛同した漫画家たちによって、2009年から2012年頃に制作されたものです。2021年に、作品を管理していた一般財団法人 日本漫画事務局 八月十五日の会※から平和祈念展示資料館へ寄贈されました。
漫画家たちは、時にあたたかく、時に辛辣なユーモアで、未来のために私たちは何をすべきかを問いかけます。描かれているのは、平和、次世代エネルギー、ロボット社会の到来、地球温暖化、多様性社会などなど。おかしさの中に、どこか笑いごとではすまされない怖さが潜んでいます。

2100年8月15日は日曜日だそうです。
世界は、どんな朝を迎えているのでしょうか。
子どもたちは、どんな未来を目にするのでしょうか。

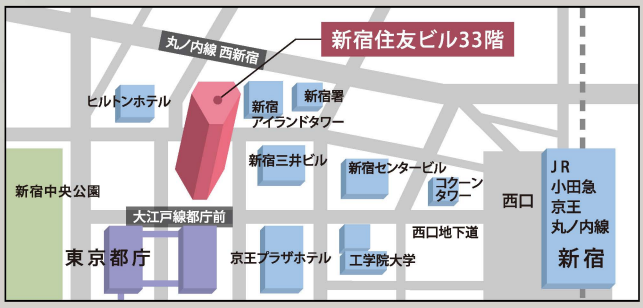
※2002年、森田拳次氏やちばてつや氏ら著名な漫画家をはじめとする有志の漫画家・作家を中心に、「私の八月十五日の会」として結成される。2012年に一般財団法人「日本漫画事務局 八月十五日の会」として再発足し、漫画・絵画の手法で平和を希求するメッセージを普及させ、社会に貢献することを目的に活動を行う。2021年7月31日、解散。

夏休みワークショップ

未来をえがこう 「2100年8月15日」
日時：8月11日(金・祝日)、12日(土)、13日(日)、14日(月) 10:00〜16:30
イマジネーションをフル回転! 未来のカタチをえがくワークショップです。
特設のアトリエで、アーティストが作品づくりをお手伝いします。

作家（五十音順）
鮎沢 まこと／今長谷 はるみ／いわみせいじ
ウノ・カマキリ／おおさわ・匡／大下 健一／小野 耕世
小幡 堅／笠根 弘二／一峰 大二／香取 正樹
柄木田 一夫／河原崎 弘司／木下 としお／草原 タカオ
クミタ・リュウ／倉田 新／小山 賢太郎／さいとう・たかを
柴田 達成／ジョルジュ・ピロシキ／すずき 大和／清 つねお
ちばてつや／チョン・インキョン／辻下 浩二／ながやす 巧
楢 喜八／二階堂 正宏／はせべくにひこ／花村 えい子
浜坂 高一朗／原子 つとむ／バロン吉元／伴 武司
ビッグ錠／古谷 三敏／森田 拳次／森本 清彦
やなせたかし／矢野 功／矢野 徳／山根 青鬼

※状況により臨時休館や開催期間変更となる場合があります。
ご来館の前にホームページなどで開館状況をご確認ください。



都営大江戸線「都庁前」駅 A6出口より徒歩 約1分
東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅より徒歩 約5分
JR線、小田急線、京王線「新宿」駅西口より徒歩 約10分

平和祈念展示資料館（総務省委託）